

生誕百年

柏原千恵子

—寂しさをまとった歌人

柏原千恵子（1920—2009）は、歌誌「七曜」を創刊、徳島新聞「徳島歌壇」選者を長く務めるなど、徳島を代表する歌人として活躍しました。戦後最大の思想家・吉本隆明は『言語にとって美とはなにか』の中で、塚本邦雄とともに千恵子の「ことごとくに…」の歌を高く評価しました。生誕百年にあたり、深く静かなまなざしで自己の内面を詠み続けた千恵子の歩みを、折々の歌とともにたどります。

2020年11月7日[土]
～2021年2月7日[日]

- | 開館時間 | 9:30～17:00
- | 休館日 | 月曜日（11月23日、1月11日は開館し、翌日休館）
年末年始（12月28日～1月4日）
- | 会場 | 県立文学書道館 3階 文学常設展示室
〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1
TEL 088-625-7485/FAX 088-625-7540
<http://www.bungakushodo.jp>
- | 観覧料 | 一般 310円（250円）
高校・大学生 200円（160円）
小・中学生 100円（80円）
*（ ）内は、20人以上の団体割引料金。
高齢者（65歳以上）と各障がい者手帳をお持ちの方は半額。
小・中・高校生は、土・日・祝日と冬休み期間中は無料。

ことごとくに負けゆくわれの後方
より熱きてのこらのごとき夕映

自筆短歌

撮影 木田英之